

アクティブ福祉

第34号
2018.8

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 広報誌

特集

～既成概念にとらわれず新たな活動を創造する～ 「新時代の高齢者福祉デザイン 検討委員会」設立記念対談

● 連載

東京における介護事業所経営の
課題とは 第2回

● 新連載

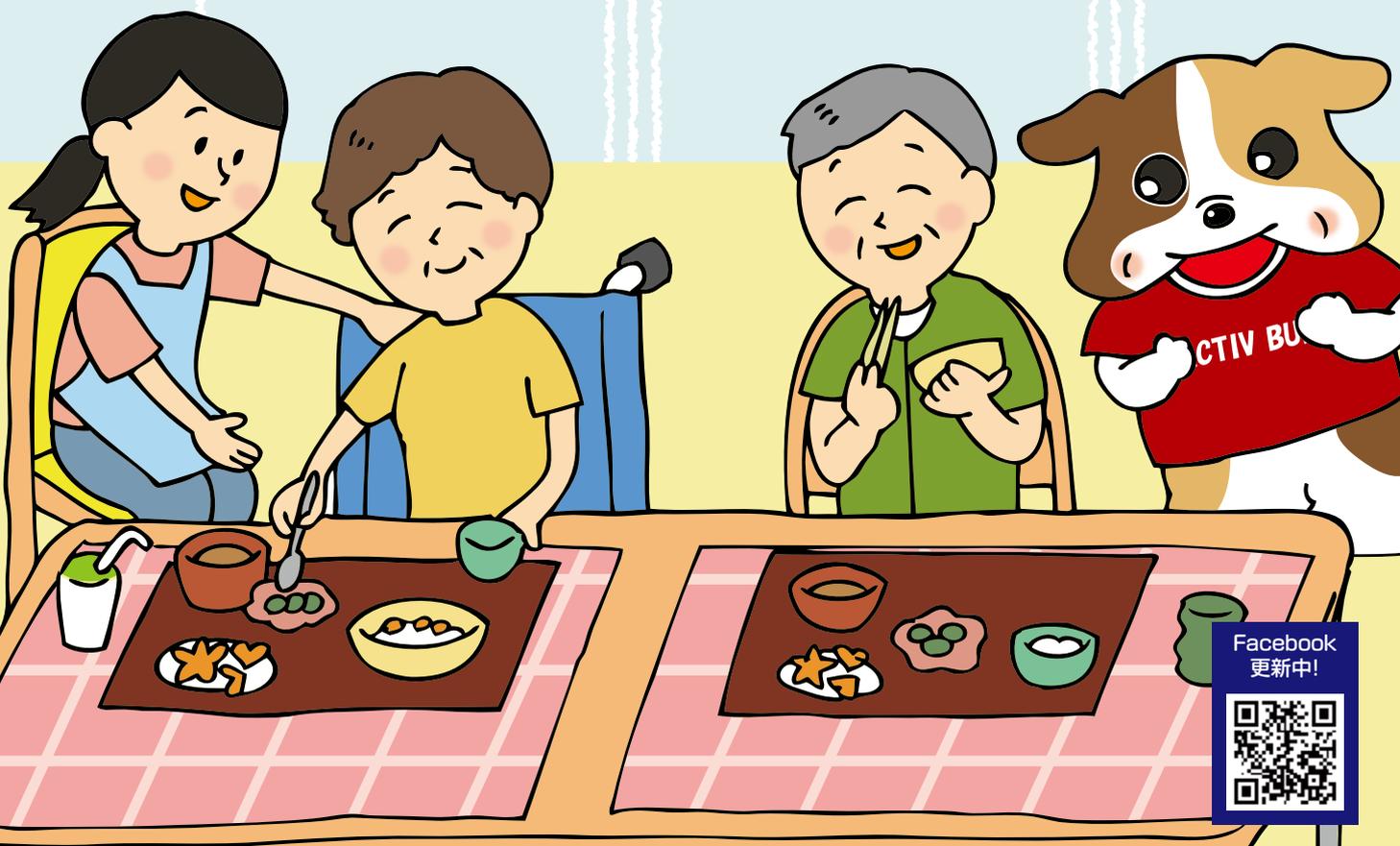
東京ケアリーダーズが行く！
うわさの施設 その1

専門委員会リレートーク！ 1回目

● TOPICS

Join us! イベントのご案内

- 養護老人ホームの今とこれから
- 入居者と共に子どもたちを地域で育む
- 新刊紹介「我がまち 再発見！」
- 「東京ケアリーダーズ」活動紹介 No.2
- 私の心に残るエピソード
- 第4回 福祉職場の“リア充”さん！



Facebook
更新中!



「新時代の高齢者福祉デザイン検討



平成30年度より会員施設の若手の施設長を中心とした「新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会」の本特集ではこれを記念して鈴木健太委員長と今裕司副会長の対談を

鈴木 健太

新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会 委員長
 (アクティブ福祉 in 東京実行委員会委員長・制度検討委員・
 機能訓練指導員研修委員兼務)
 社会福祉法人友愛十字会 砧ホーム 施設長

「新時代」のニーズに応え、高齢者福祉をデザインする

今 新委員会の設立には2つの狙いがあります。1つ目は施設の核となる人材や、東京都高齢者福祉施設協議会（以下、高齢協）での活動を推進する若手の育成です。これまで個人のスキルを伸ばす研修会はありましたが、施設全体の運営を学ぶ研修は多くありませんでした。昨今、施設長の代替わりが行われる中で、そうした学びの場が必要です。また、今は行政の首長や企業経営者も若い世代が担う時代です。高齢協の運営についても、若い方が舵を取っていくことで、時代のニーズにより応えることにつながります。

2つ目は全国老人福祉施設協議会の21世紀委員会（50歳以下の次代のリーダーによる組織）への東京でのカウンターパートとしての役割です。

鈴木 団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年が近づき、さらなる社会の高齢化が進むなか、世界に先立って未知の課題の発生が予想される「新時代」がじきに訪れるでしょう。そこでの高齢者福祉をデザインする上で、世の中と自分たちの進化に合わせて、情報をしっかり捉え、発信・共有することが大切だと考えています。

施設内を例に挙げると、外国人が入職した際のコミュニケーションや、職員同士の連携の上での情報共有が挙げられます。また、施設の垣根を超えた若手職員による横断的な情報ネットワークの構築も重要です。

あらゆることにチャレンジする

今 今日、「福祉」という言葉の真髓が、見えづらくなっていると感じています。私たちが福祉だと思っていることも、外から見ると「介護サービス」と括られてしまう。国や東京都の構想でも、福祉の領域が狭められていることは問題です。セーフティネットとしての福祉をどうとらえるかを見直す必要があるのではないのでしょうか。

世間と我々を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で、これまで関わりのなかった異業種と協働・コラボレートすることが出てくると思います。新委員会の皆さんには既成概念にとらわれず、柔軟な発想でチャレンジしてほしいと願っています。

鈴木 これまでの2回の会議で、そういったわくわくするような新しい発想が出始めています。若手のリーダーが集まっているので、エネルギーが豊富です。

まだ発足したばかりで、枠はない状態ですので、どんな案も「あり」と捉えて、やってみたいこと

委員会」 設立記念対談

者福祉デザイン検討委員会」(以下、新委員会)が新たに発足しました。施。委員会の抱負と期待を語っていただきました。



今 裕司

東京都高齢者福祉施設協議会 副会長
(センター分科会長・地域包括ケア推進委員兼務)
社会福祉法人秋川あすなる会 あすなるみんなの家 施設長

をどんどん進めていきます。メンバーの考えはどれもとても面白いと感じています。異業種との連携についても勉強・体験しながら、組み立てていきます。将来的には社会・業界への提言も発信できるようになればと思います。

今 東社協の東京都介護保険居宅事業者連絡会には40歳以下の若手で構成される「CLUB POPCORN」という組織があります。とてもカジュアルな雰囲気、比較すると高齢協はまだ硬いところがあるのかなとも感じます。発想も柔軟で、畜産業とのコラボを想定した見学バスツアーといったことも実施しています。今の高齢協役員が持たないような情報や人脈を活用することは、若さがあるからこそそのチャレンジだと思います。

鈴木 その事例をご紹介いただきとても刺激になりました。偉大な先輩方に「ダメ出しされるかも」と二の足を踏みそうなことでも、「やっちゃえばいいんだ」と思い切ることができます。新委員会もそんな雰囲気になってます。

今 役員が「やっちゃダメ」と制限しては何も始まらないし、新委員会の意味がなくなってしまうからね。どんどんチャレンジしてほしいです。

新委員会のこれから

鈴木 これまでの会議では思っていること・やりたいことを話し合いました。そのジャンルは伝えたいこと(主張・報告)・聞きたいこと(共有)・議論したいこと(課題解決)・開催したい研修(講義)・交流したい団体(異業種交流)の5つに分かれており、当面はこれを軸に議論していきます。

今 21世紀委員会のカウンターパートという意味合いがある中で、全国各都道府県の代表が集まる拡大委員会も企画されています。東京の代表としては、大都市ならではの課題やアイデア、実践例を発信し、全国をリードして行ってほしいですね。

また、高齢協にはおよそ1200の事業者がありますが、会員施設には可能な範囲でより多く高齢協の活動に参画していただければと思っています。できそうなことから実現していくことで、高齢協と関わる現場や若手のすそ野を広げる起爆剤となり、高齢協全体の活性化につなげて行ってほしいと思います。

鈴木 そうした期待を寄せて、新委員会を組織して下さったことに感謝しています。可能性を広げるためにも、あらゆることにチャレンジして実現し、この新しい流れを力強く将来につなげていきたいと思っています。



取材・文／東京新聞 木下聡文

新任施設長の皆さまに向けて、全4回の連載でお届けするコーナーです。
東京都高齢者福祉施設協議会 経営検討委員会で毎年実施している「経営実態調査」にご協力をいただいている福祉規格総合研究所の栗原英彰氏に寄稿いただきます。

第2回

1. 拠点区分ごとの社会福祉充実残額

昨年度から始まった社会福祉充実残額（以下、充実残額）の算定とは、法人全体において現在実施している事業を維持しながら、将来の更新費用等も含めて、現在の内部留保で足りているか否かを見てみることにある。

今回は、特養を中心した施設単位での充実残額を算定してみることにする。具体的な数値は東社協が実施した平成28年度経営実態調査（以下、「実態調査」）の平均貸借対照表等をもとに説明する。

都内民設民営特別養護老人ホーム拠点区分の平均貸借対照表（表1）

（単位：千円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	295,663	流動負債	83,257
固定資産	1,370,410	1年以内返済予定設備資金借入金	15,570
基本財産	1,171,463	1年以内返済予定リース債務	1,011
土地	499,384	上記以外の流動負債	66,675
建物	672,058	固定負債	211,215
定期預金	21	設備資金借入金	166,611
その他の固定資産	198,947	リース債務	3,054
土地	4,205	上記以外の固定負債	41,551
建物	12,417	負債合計	294,473
構築物等	37,293	基本金	238,157
その他の積立資産	95,197	国庫補助金等特別積立金	713,212
上記以外のその他の固定資産	49,835	その他の積立金	97,605
		次期繰越活動増減差額	322,626
		純資産合計	1,371,601
資産合計	1,666,073	負債・純資産合計	1,666,073

※上記（表1）は、「実態調査」報告書P.38に記載されている都内民設民営特別養護老人ホーム（以下、「特養」）拠点区分の平均貸借対照表をもとに、一部の科目をまとめて表示してある。

社会福祉充実残額算定シート別添（財産目録）（表2）

（単位：千円）

勘定科目	貸借対照表価額	控除対象	控除対象額
流動資産	295,663	×	
固定資産	1,370,410		
基本財産	1,171,463		
土地	499,384	○	499,384
建物	672,058	○	672,058
定期預金	21	○	21
その他の固定資産	198,947		
土地	4,205	○	4,205
建物	12,417	○	12,417
構築物等	37,293	○	37,293
その他の積立資産	95,197	×	
上記以外のその他の固定資産	49,835	×	
資産合計	1,666,073		1,225,378

※（表1）から（表2）に転記を行い、控除対象か否かを○又は×で表示した。なお、これらの判定については、勘定科目ごとの原則的取扱い（厚労省局長通知）によっている。

※建物とそれ以外の減価償却資産の各減価償却累計額は、「実態調査」から集計できないため、減価償却累計額の全額を建物（基本財産）にかかるものとして算定を行った。

※他拠点（事業）区分貸付・借入勘定（長期を含む）については、特に調整せずに算定を行った。法人全体で算定を行う場合、上記残高は内部取引消去されるため、存在しないことになる。

社会福祉充実残額算定シート (表3)

(1) 活用可能な財産の算定 (単位: 千円) (表1) から必要な金額を転記。

項目	金額
資産 (a)	1,666,073
負債 (b)	294,473
基本金 (c)	238,157
国庫補助金等特別積立金 (d)	713,212
合計 (a - b - c - d)	420,231

※社会福祉充実残額算定シートの具体的な計算プロセスについては、東社協発行「社会福祉法人会計の実務 (第4編決算実務・決算モデル編)」P.31 ~ P.35 参照。

← いわゆる内部留保の額。

(2) 社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等

①財産目録における貸借対照表価額 (単位: 千円)

合計 (a)	1,225,378
--------	-----------

(表2) の控除対象額の合計。

②対応負債 (単位: 千円)

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	15,570
1年以内返済予定リース債務	1,011
設備資金借入金	166,611
リース債務	3,054
合計 (b)	186,246

③合計 (単位: 千円)

項目	金額
財産目録合計 (a)	1,225,378
対応負債合計 (b)	186,246
対応基本金 (c) (3号を除く)	225,388
国庫補助金等特別積立金 (d)	713,212
合計 (a - b - c - d)	100,532

(表2) で控除対象としたもののうち、不動産等の取得財源となった設備資金借入金等の集計。金額は、(表1) から該当科目を転記。

上記①~②の集計と対応基本金 (3号を除く) 等を集計。

(3) 再取得に必要な財産

①将来の建替費用 建物 (基本財産) のみ集計

財産の名称等	取得年度	減価償却累計額	建設工事費デフレーター	一般的自己資金比率	合計
建物 (基本)	1993	829,597	1.11	22%	202,587

②大規模修繕に必要な費用 建物 (基本財産) のみ集計

財産の名称等	減価償却累計額	一般的大規模修繕費用比率	貸借対照表価額	合計
建物 (基本)	829,597	30%	672,058	111,384

③設備・車輛等の更新に必要な費用 (単位: 千円)

合計 (a)	0
--------	---

④合計 (単位: 千円)

項目	金額
将来の建替費用	202,587
大規模修繕に必要な費用	111,384
設備・車輛等の更新に必要な費用	0
合計	313,971

③の集計は、本来構築物等にかかる減価償却累計額で行うが、建物とそれ以外の減価償却資産の減価償却累計額が、「実態調査」から集計できないため、その全額を建物 (基本財産) にかかるとした。このため、当該③は、ゼロとした。

年間事業活動支出を、3/12 とし必要な運転資金とした。なお、当該年間事業活動支出は、特養及び短期入所のみ金額であり、特養拠点区分全体の金額ではない。

(4) 必要な運転資金

項目	金額	月数	金額
年間事業活動支出	413,789 ※	12	3 103,447

※「実態調査」都内民設民営特養等平均事業活動計算書から推計。
 $428,471 \text{千円} + 3,443 \text{千円} - (18,105 \text{千円} + 20 \text{千円}) = 413,789 \text{千円}$
 (サービス活動費用) (サービス活動外費用) (正味減価償却費) (徴収不能引当金繰入)

(5) 社会福祉充実残額 (単位: 千円)

項目	金額	控除対象財産計
活用可能な財産	420,231	517,950
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産	100,532	
再取得に必要な財産	313,971	
必要な運転資金	103,447	
合計	△97,719	

多少ラフな計算によるところもあるが、「実態調査」の平均貸借対照表等から算定した社会福祉充実残額は△97,719千円となった。この金額は、あくまでも現存する建物を基準に、将来の建替費用 (建設工事費上昇分を加味) や大規模修繕を算定している。△97,719千円は、年間事業活動支出413,789千円 (人件費、

事業費、事務費及び支払利息等) に対してどの程度の身の丈なのであろうか。97,719千円 / 413,789千円 × 12月 = 2.833月となる。言い方を換えれば、貸借対照表上では、420,231千円の内部留保が存在しているが、現在社会福祉事業等に活用している財産やそれらを再取得のために必要な財産及び必要な運転資金を差し引くと、年間事業活動支出の3ヶ月弱分のマイナスが生じているということである。

現在、高齢者福祉施設の施設長は当該施設における、財政上の不安を感じていると思われるが、それが具体的にどの程度なのかということ把握しているだろうか。今回、示した社会福祉充実残額が△97,719千円であるということ、具体的な課題とし、次回は、将来的に必要なとなる建替え等に対する準備などの具体的なプランをどのように考えるかなどを検討して行くこととする。

東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約 1200 施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回、「うわさ」の施設を 東京ケアリーダーズが訪問し、直接お話を伺います。

その 1

2017 年開催「東京の介護ってすばらしい！グランプリ」ランチ部門 最優秀賞受賞
 社会福祉法人清明会 特別養護老人ホーム清明園・養護老人ホーム浅川ホーム

抜群のチームワークで豊かな食事を

行事も多く、年間 40 回以上はイベント食の提供がある清明園・浅川ホーム。利用者の楽しみでもある食事のイベントは月に一回は開催しているそうです。受賞作品（写真）は、見た目だけでなく食材を生かした味付けなど工夫があり、審査員から高い評価を得ています。

今回の取材では、両施設の栄養士である桃木野 絢さん、田丸 由香さんのお二人に、受賞の感想や食事に関する日頃の取り組みについてお話を伺いました。



左から細金、清明園大川富美施設長、桃木野さん、田丸さん、浅川ホーム島崎勝弘施設長

—— グランプリに応募したきっかけを教えてください。

今回は施設長に勧められて初めて挑戦しました。特別なものではなく、普段のメニューから、指定されたテーマの「秋を感じさせる昼食」に沿ったものを選んでいきます。

—— ランチ部門では、「調理審査」もあったそうですが、当日はいかがでしたか？

会場がとても緊張感のある空気の中、慣れない調理器具や厨房に戸惑ってしまいすこしバタバタとしてしまいました。参加したスタッフ 4 人で話し合いながら、和気あいあいといい意味でマイペースにできました。チームワークが一番良かったと思います。



受賞作品「秋の味覚膳～食事から健康に～」
 はらこ飯丼・さつま汁など、入所者への想いと職員の技術が感じられる

— オリンピックでの‘カーリング女子’みたいですね（笑）

そうですね（笑）栄養士・調理師共に意見を言い合える関係なので、お互いに気が付いた事等言い合い、日々新しい事にもチャレンジしています。



調理審査の様子。チームワークの良さは、審査員からも評価された。

— 食事に関して、施設全体で気を付けている点などはありますか。

利用者と直接関わる事で、調理場の職員の意識も変わると考えています。調理職員も介護職員と同一の制服を着用しており違和感なくフロアーへ出来るだけ顔を出し、より多くの利用者に関わるようにしています。また、他のスタッフが分からないメニューがない様に、献立に一口メモを載せて、現場の介護職員らも利用者に説明出来るようにしています。



— 受賞後のまわりの方からの反応はいかがでしたか？

私たち栄養士へ直接はなかったですが…他のスタッフが周囲から「おめでとう」と声をかけていただいたそうです。施設の玄関にも大きなポスターを貼っているの皆さんの目に良くとまると思います。

— 今回の作品も彩豊かで、とってもおいしそうですね。ホームの食事をご家族や地域の方が試食できる機会もあるのでしょうか？

毎月の誕生日会でご家族に召し上がっていただいたり、地域の交流会等で提供したりしています。また、職場体験の学生さんにも食べてもらっています。施設見学の際も希望者には、有料ですがお出ししていますよ。

— 本日は、貴重なお話をありがとうございました！

■取材

東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ

細金 沙耶加（社会福祉法人アゼリヤ会 特別養護老人ホームみやま大樹の苑 介護職員）

■記録・編集

東京都高齢者福祉施設協議会 広報戦略推進委員

山本 里織（社会福祉法人東京玉葉会 特別養護老人ホーム青陽園 生活相談員）

Join us!

東京都高齢者福祉施設協議会で
これから開催するイベントのご案内です

申し込み
受付中!



9月28日(金)

新しいケア、集結!

第13回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'18」

都内高齢者福祉施設・事業所で働く職員が日頃の取り組みを学会形式で発表します。
多様なケアの積み重ねと、エビデンス（根拠・証拠）に基づいた実践の数々をご覧ください。

〔日時〕 2018年9月28日(金) 9:20～17:00

〔会場〕 京王プラザホテル(新宿区)

最寄駅: JR・私鉄・地下鉄「新宿駅」西口、
都営大江戸線「都庁前駅」

〔対象〕 どなたでも(一般6,000円、学生1,000円)

- 🐾 研究発表 62 題(予定)
- 🐾 ポスターセッション 10 題(予定)
- 🐾 ランチョンセミナー開催
- 🐾 介護ロボット体験コーナーあり
- 🐾 喫茶コーナーあり
- 🐾 お笑いコンビ「レギュラー」がステージイベントに登場!



施設職員の実施・研究を
お聞きいただけます



関連企業の担当者と直接
お話しいただけます



お笑いコンビ
「レギュラー」

▼内容の詳細・参加申込

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/taikai/2018-0319-1152-14.html>

「アクティブ福祉18」で検索!

10月16日(火)

大都市東京の介護と暮らしを守る 都民フォーラム2018



参加無料!

社会保障や介護報酬など関連する制度の変革が進む中、急速な高齢化と深刻な介護人材不足に直面する大都市・東京。さまざまな課題をわたしたちみんなで考えるフォーラムです。

〔日時〕 2018年10月16日(火) 15:00～17:00

〔会場〕 イイノホール(千代田区)

最寄駅: 地下鉄日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口直結
地下鉄丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2 出口 徒歩5分

〔対象〕 都民の皆様、東京都内の高齢者福祉施設・介護サービスの利用者やその家族、高齢者福祉施設・介護サービス従事者、社会福祉法人役職員、その他高齢者福祉関係者

- 🐾 各会派の国会議員を招いてのシンポジウム
- 🐾 インターネット中継も予定!

▼内容の詳細・参加申込(9月頃より掲載予定)

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

「東京 高齢協議会」で検索!



シンポジウムの様子
(2017年)

作品
募集中!



高齢者福祉の多様な魅力を伝えたい。 東京の介護ってすばらしい! グランプリ

高齢者福祉施設における多様な場面にスポットをあて、介護の仕事の魅力を紹介します。応募作品のうち、特に優秀と認められるものを表彰します。

◆ ランチ部門

「少しでも楽しく、希望に沿う食事をしていただきたい」そんな思いから、ご利用者に提供する食事(ランチ)は、'栄養満点' '彩り豊か' '季節を感じる' 工夫がいっぱい! 思いのこもったレシピを教えてください。

【応募対象】 東京都高齢者福祉施設協議会の会員事業所
*テーマは「冬のイベント食」、調理審査あり。

【表彰】 最優秀賞1施設、優秀賞2施設、入賞3施設

【賞金】 最優秀賞5万円、優秀賞3万円、入賞1万円



調理審査の様子

◆ メッセージ部門

施設には、人と人の関わり、気持ちと気持ちの重なり合いがいっぱい! 今まで伝えられなかった「ありがとう」の気持ち、'ほっこり' したエピソード、嬉しかった一言…。ご家族へ、ご利用者へ、施設の職員へ日頃の想いを教えてください。

【応募対象】 どなたでも

【表彰】 最優秀賞1作、優秀賞2作

【賞金】 最優秀賞5万円、優秀賞3万円

【参加賞】 クオカード *応募者で下記の表彰式に参加した方に限る



◆ ホームページ部門

「見やすい!」「おしゃれ!」「調べやすい!」…たくさんの人に施設のフレッシュな情報を伝えるホームページにはアクセスする人の目線に立った使いやすさがいっぱい! 工夫に富んだ自慢のホームページを教えてください。

【応募対象】 東京都高齢者福祉施設協議会の会員事業所

【表彰】 最優秀賞1施設、優秀賞2施設、入賞3施設

【賞金】 最優秀賞5万円、優秀賞3万円、入賞1万円



▼ 募集内容の詳細

募集期間: 2018年8月15日(水) ~ 2018年10月5日(金) ※必着

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/members/news/2018-0806-1538-14.html>

「東京 高齢協議会」で検索!

◆ 表彰式

日時 2018年12月1日(土) 午後

会場 飯田橋レインボービル7階大会議室(新宿区)

最寄駅: JR「飯田橋駅」西口徒歩6分

地下鉄「飯田橋駅」B3出口徒歩5分



表彰式の様子
(2017年)

専門委員会リレートーク!

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会（※）に所属する皆さまから、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題や新しい取り組み、他施設に教えたい情報を伝えるページです。

今回は、人材対策委員会の羽生委員長（はなみずきホーム／墨田区）のご所属法人からのご報告です。

外国人留学生を受け入れて

社会福祉法人賛育会 特別養護老人ホーム東京清風園 地域密着型事業担当課長 **並木 実**

2017年度から修学生（留学生含む）支援を開始

社会福祉法人賛育会では、昨年度より養成校等へ通い、介護福祉士の資格を取得し、在留資格「介護」へ繋がっていく外国人留学生を含めた修学生支援を試験的に始めました。主な支援の内容は、次の通りです。

- ① 修学支援（奨学金の貸与・連帯保証・日本語教育など）
- ② 就労支援（アルバイト雇用）
- ③ 生活支援（学生寮・生活用品貸与・生活相談など）

修学生支援は、もちろん中長期の人材対策を目的としたものですが、外国人留学生受入れの場合は、誰もが活躍できる職場環境を構築することや国際貢献を第1の目的としました。ささやかですが養成校を応援したいという目的もあります。現在、墨田区にある当法人の「東京清風園」では下表の4名の外国人留学生が活躍しています。

	国籍	日本語能力	在日年数	学校	将来の夢
A	台湾	N1	1年3ヵ月	介護福祉士養成校	母国で施設経営
B	ミャンマー	N2	1年9ヵ月	介護福祉士養成校	母国で施設経営
C	ベトナム	N4	0	日本語学校	母国で看護師
D	カンボジア	N4	0	日本語学校	母国で施設経営

*いずれも受入れ時点

試験的な受入れということもあり、多様な国籍・日本語能力の学生を受け入れました。特にN4レベルの外国人を受入れるにあたり、介護の現場でどのような課題があるかには大変興味深いものがありました。

受け入れから1年が経過して

受入れから1年以上が経過し、養成校の二人は2年生に進級。日本語学校の二人も無事養成校に入学することができました。この間、東京都の「介護職員宿舎借り上げ支援事業」や「介護福祉士修学資金等貸付事業」の活用が修学生支援を後押ししてくれました。

養成校へ通う二人は日本語の能力も高く、すぐに現場で歓迎されました。学生も介護の現場で働くことができ、学生寮の提供や生活支援もあることから、双方にとって満足が得られるものになりました。

一方日本語能力N4レベルの学生は、当初ほとんど日本語が通じませんでした。とても介護の仕事ができるレベルではないので、グループホームで見学しながら、日本語や日本の生活習慣により多く触れることを目的としました。学生も職員も慣れるまで相当な時間を要しました。夏休みには、集中して日本語教育支援も実施しました。

現在は、従来型特養で基幹業務の補助ができるくらいまで日本語も介護スキルも向上しています。これも現場スタッフが当初の戸惑から前進し、今ではチームとして真剣にスキル向上を目指しているからです。修学生の今後の活躍が楽しみです。



留学生4名が施設長を囲んで。
中央：東京清風園 植竹香苗施設長／左右：留学生

※制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。

養護老人ホームの今とこれから

●社会福祉法人 東京蒼生会
大森老人ホーム 生活相談員

まるやま ひろし
丸山 浩史

▶ 「養護」を必要とする高齢者は増えていく ◀

養護老人ホーム（以下「養護」）は、環境や経済的な問題により在宅で生活が難しい方が市町村による措置という形で入所する施設です。見守りや声かけ等の少しの手助けがあれば生活できる方が対象ですが、入所時は自立されていても、病気や怪我により介護が必要になる方もいます。

その為シルバー人材センターで働くほど元気で自立度が高い方から、食事を食べたことをすぐ忘れてしまう認知症の方、精神疾患の方もいて、利用者によってADLが大きく違います。末期癌でホスピス等に移動することができず、終末期を「養護」で過ごすケースもあります。まだまだ、世間では「養護」の存在は知られていないと思うことがしばしばありますが、「養護」を必要としている高齢者はこれから益々増えていくでしょう。

▶ 「養護」の存在を伝えていきたい ◀

職員は生活支援や介護のスキルを一層磨き、社会のニーズに応えられよう積極的に「養護」を広報していかなければなりません。大森老人ホームでは、地域包括支援センターと連携した高齢者世帯のゴミ出し支援や、利用者による子どもたちの朝の通学見守り活動等新しい取り組みを始めて、利用者が役割を持つことで自立支援に繋げ、より地域に開かれた施設づくりを目指しています。



ゴミ出し支援は地域包括支援センターと連携で実施中！



「いってらっしゃい」
朝の通学路で子供を見守る利用者



入居者と共に 子どもたちを地域で育む

●社会福祉法人福音会
軽費老人ホーム A 型 町田愛信園
主任生活相談員

わたなべ おさむ
渡辺 修

▶子ども会に施設を開放—きっかけは会長の一言—◀

入居者が参加できる地域活動を模索していたところ、「地域では子どもたちを支援してきている」と子ども会の会長の紹介を頂き、その会長から地域の抱える課題を伺うことが出来ました。それは、この地域が3つの小学校の境界にあり、異なる小学校の子どもたちの間では隣合わせでも交わりが希薄になりがちということでした。そこで、「子どもたちの育成にお役に立つのであれば」と、子ども会に施設を開放して入居者と共に交流して参りました。

▶子ども食堂を開催—子どもたちを地域で育む—◀

その交流を重ねる中で、子ども会役員より「子ども食堂」についての相談があり、市の社会福祉協議会より活動拠点の紹介を頂き、立ち上げに向けた話し合いやプレオープンを経て、2017年10月から「ふくちゃん食堂」として、毎月第3水曜日に実施することになりました。

企業からの食材量の支援はもとより、多くの地域住民や学生などの支援を得て、共に参加している当施設の入居者との多世代交流の中で、子どもたちは、食や文化継承にも触れることが出来ております。この取り組みが、参加する入居者の生きがいとなると共に、子どもたちの孤立防止や食育に繋がっていくことを願ってやみません。



ボランティアも交えた食事



正月遊びをする入居者と子どもたち



節分行事に沸く子どもたち

「ふくちゃん食堂」のイベントと献立

1月 「正月遊び」
恵方巻き・おすまし・サラダ・フルーチェ

2月 「豆まき・バレンタイン」
サンドイッチ・クラムチャウダー
チョコレートファウンテン

3月 「お雛様」
ちらし寿司パーティー（手巻き寿司）



ネットワークづくりのためのヒント集3 我がまち 再発見！ データ・まちの声・未来像

新刊紹介

支援センター分会ネットワーク委員会では、これまで地域包括支援センター職員が取組む地域との連携やネットワークづくりに焦点をあて、ヒント集の発行や研修の実施をすすめてきました。

今回は、「地域診断」から住民主体で「地域づくり」に取り組むまでの段階について検討を重ね、住民と一緒に地域診断をすすめるためのヒアリングシート「我がまちシート」を完成させました。地域の客観的データの収集はもちろん、地域のさまざまな課題を「他人事」から「我が事」へ転換していただけるようなワークシートとしても活用できるよう工夫しています。



目次

第1章 ヒアリングの構成と我がまちシートの使い方について

第2章 我がまちシートを使ってみました

- 第1節 ビルやマンション居住者が多い都市部での生活（台東区）
- 第2節 歴史と伝統の中で継承されてきた地域の絆（千代田区）
- 第3節 不便を不便と感じない力（府中市）
- 第4節 国分寺市が好きだから（国分寺市）
- 第5節 我が町の強みは、地域への愛着が一番（町田市）

第3章（論説）地域診断と福祉分野におけるパラダイム転換

第4章（論説）改正社会福祉法と福祉分野におけるパラダイム転換

参考資料：我がまちシート



A4判／92頁
1200円（+税・送料別）



● お問い合わせ・お申込み ●

東京都社会福祉協議会 図書係

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1

TEL 03(3268)7185

FAX 03(3268)7433

★ホームページからご注文いただけます！ <http://www.tcsw.tvac.or.jp/>

私達、こんな活動してきました！

みなさんこんにちは！東京ケアリーダーズです。

今回は普段私たちがどのような活動をしているのか、ご紹介したいと思います。

まずは定例研修です。2ヶ月に1度、様々な内容の勉強会を行っています。

東京ケアリーダーズのアンバサダーである町亞聖さん、お笑い芸人のタブレット純さん、東京家政学院大学の西口守先生など様々な方を講師としてお招きし、“プレゼン能力の向上”や“介護を取り巻く現状・法律”、“自分をアピールする方法”等を学んできました。



「伝わる話し方」を学びました（2017年4月）



「魅力を伝える」方法を伺いました（2017年6月）



「制度と実践」について考えました（2017年10月）

東京ケアリーダーズ facebook

毎週更新中！



ケアリーダーズ全体としてのイベントがなくても、それぞれの施設や地域で行われるイベントに少人数で参加し、介護の魅力を伝える活動をしています。

また、イベント時に披露させていただき、オリジナル曲の歌とダンスの練習もしています。ダンススタジオでプロの先生に教えていただき、本格的なダンスレッスンです。

そんな定例会の様やダンスレッスンの様子、普段の仕事の様子などをフェイスブックでご紹介しています。ケアリーダーズが毎週更新していますので、是非ご覧ください！

みやま大樹の苑 細 金 沙耶加
砧ホーム 和 田 美 雪
偕楽園ホーム 田名部 彩 香

私の心に残る エピソード

社会福祉法人東京栄和会 千代田区立一番町特別養護老人ホーム

管理栄養士 こばやし 小林 せつこ 雪子

同僚から学びなおした基本の大切さ

● 患者様との接し方…

病院勤務を経て、当施設に入職し23年が過ぎました。病院時代は献立作成が主な仕事で、患者様と接することはほとんどありませんでした。入職当初、親よりも年上の利用者様とどのように接したらよいか自信がありませんでした。実際に上手に話を聞くことができず、苦手意識も持っていました。

● 利用者様との信頼関係を築くには

ある日のこと。「僕が働いている頃はね…」と話す利用者様に「そうでしたね、会社を経営していたのですよね…」と相槌をしながら傾聴している介護士の姿を見てハッとしました。恥ずかしながら、その時に「お互いを知り、まずは信頼関係を築く」というコミュニケーションの基本中の基本を思い出したのです。その頃の私は、とにかく食事の希望を聞かねばと、いきなり食事の質問をしていたように思います。それ以来、食事時間以外でも利用者様や家族との時間をつくり信頼関係を築くよう心がけるようになりました。また同僚から情報を得ながら、苦手意識を克服していきました。

● 後輩たちへ

月日は流れ、5年前より栄養士養成施設の学生受け入れを開始しています。ほぼ全ての学生から「高齢者とはどう接したらよいですか？」と質問されます。その時は上で述べた私の話をしています。また、自分自身も基本に立ち返るよう心がけています。



編集後記

今年は格別に残暑が厳しく、暑い日が続いています。この暑い季節を乗り切るためにもバランスのとれた食事、十分な睡眠をとり健康に楽しく過ごしましょう。

さて、今号より新しく「東京クアリーターズが行く！うわさの施設」(P67)と「専門委員会リレートーク」(P10)の2つのコーナーがスタートしました。他施設の普段なかなか知ることの出来ない情報を発信しておりますので、今後の掲載にもご期待ください。

本紙面を編集しております広報戦略推進委員会では、福祉の事をより多くの方に知っていただく為に、東京都高齢者福祉施設協議会の活動内容や、現場で働く職員の声などを毎号掲載するよう努めております。また、広報紙だけではなく、SNSを活用しタイムリーな情報をご提供しております。是非、愛読書の一冊にしてください。

社会福祉法人東京玉葉会
特別養護老人ホーム青陽園
生活相談員 山本 里織

第4回 福祉職場の

リア充さん!



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会
マスコットキャラクター「アクティブ」

こんにちは！東京都高齢者福祉施設協議会のアクティブだブル。このコーナーでは仕事やプライベートを楽しみながら福祉職場で働く「リア充」さんを紹介していくブル！

今回のリア充さん



メイダ ハンダジャニ
MEIDA HANDAJANIさん

社会福祉法人 不二健育会
舟渡高齢者在宅サービスセンター
EPA介護福祉士

アクティブ： どうしてこの仕事を選んだブル？

メイダさん： コミュニケーション技術を高めようとEPAで来日し、介護福祉士を取得しました。特養で4年働き、一度退職・帰国して、昨年復帰しました。現在はデイサービスに勤務しています。

アクティブ： 日本での仕事を選んでくれて嬉しいブル！ 他にはどんな業務を担当しているブル？

メイダさん： 送迎、バイタル測定、水分補給、入浴介助、食事介助、口腔ケア、排せつ介助、体操、リハビリ…などを行っています！

アクティブ： お仕事の中で楽しいなあと感じるのはどんな時ブル？

メイダさん： 利用者さんの人数が多いので、名前を覚えるのは大変ですが…一緒にレクリエーション活動をすることがとても楽しいです。

アクティブ： お休みの日はどんなふうにご過ごしているブル？

メイダさん： 夫と子どもと公園へ行ったり、買い物に行ったりしています。家族と一緒に日本で生活することができてとても幸せです。

アクティブ： 仕事もプライベートも充実しているブルね。最後に一言！

メイダさん： ケアワーカーのみなさん、いつも笑顔で、キラキラ介護福祉士になりましょう！！



レクリエーションの場面



家族と一緒に♡

今号の表紙



お味はいかがですか？ 今日ランチは、最優秀賞を受賞したメニュー（p6 参照）です。みんな笑顔で、おいしい食事。あれ、アクティブもおなかのすいてきたみたい！

社会福祉法人 不二健育会 舟渡高齢者在宅サービスセンター

所在地：東京都板橋区舟渡3-4-8 TEL：03-3969-3101 FAX：03-3969-3155

特別養護老人ホーム（定員105名）のほか、ショートステイ（短期入所生活介護：定員 15名）、デイサービス（一般デイ：定員50人/日 認知デイ：定員12人/日）、ケアプランを作成する居宅介護支援事業所、ご自宅での介護や日常生活のお手伝いを行うヘルパーステーション、板橋区から受託している高齢者の身近な相談窓口である舟渡おとしより相談センターを有した複合施設です。日々の活動を載せてますので、是非ブログもご覧ください。

<https://ameblo.jp/fujikenikukai/>

あなたの施設の「リア充」さん募集中！自薦・他薦は問いません。掲載を希望する方は事務局にぜひご連絡ください。